発行番号更2019-3064号

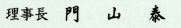
性 能 評 定 書

設備機器の種別		防火材等(共住区画貫通配管等)
型	式記号	延焼防止機能付貫通部材
申	住 所	岐阜県関市新迫間12
請	名 称	シーシーアイ株式会社
者	代表者氏名	代表取締役社長 岡部 鉄也
性的	能評定番号	KK28-004号
性俞	 能評定年月日	平成28年(2016年)01月25日
性能	2評定有効期限	平成34年(2022年)03月31日
性能評定の内容		標記共住区画貫通配管等は、評定報告書記載の評定条件の範囲内で使用する場合において、「特定共同住宅等の住戸等の床又は壁並びに当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件」(平成17年消防庁告示第4号)に規定する耐火性能を有するものと認められる。 対象:壁

本設備機器は、一般財団法人日本消防設備安全センターの定める消防防災用設備機器性能評定規程第5条の規定に基づき、厳正なる試験を行った結果、上記の性能を有するものと認めます。



一般財団法人日本消防設備安全





評 定 報 告 書

消防防災用設備機器性能評定委員会 委員 長 次郎丸 誠男

消防防災用設備機器の種類

防火材等(共住区画貫通配管等)

型 式 記 号

延焼防止機能付貫通部材

申 請 者 名

シーシーアイ株式会社

岐阜県関市新迫間12

評定結果

標記共住区画貫通配管等は、別記評定条件の範囲内で使用する場合において、「特定共同住宅等の住戸等の床又は壁並びに当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの 貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件」(平成17年消防庁告示第4号)に規定する耐火性能を有しているものと認められる。

対象:壁

構 造: 厚さ 75mm 以上

(鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート又は軽量気泡コンクリート)

開口部: 直径150mm以下の円形

配管用途 : 排水管、排水管に付属する通気管

承認 16.125 一般財司法人 B本游放蘭安全2/5-

別記

I. 評定概要

1 構造及び材料

(1) 構造

延焼防止機能付貫通部材(以下、「貫通部材」という。)は、熱膨張材として膨張 黒鉛を含有する閉塞部材と目地材からなる構造体である。

直管を貫通する場合の開口径は、直径 150mm 以下の円形とし、その構造を図1に示す。

単位:mm

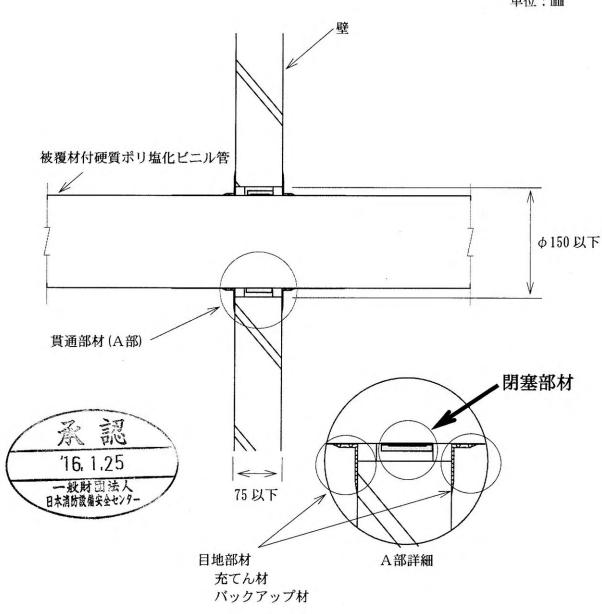
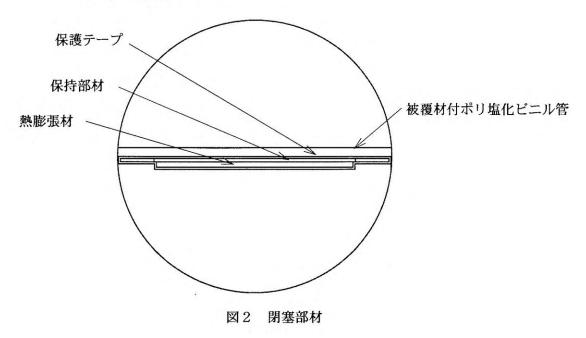


図1 直管貫通構造図

(2) 材料

ア 閉塞部材

仕様を図2に示す。



(ア) 熱膨張材

熱膨張性黒鉛。

非公開

で包装したもの

であり、図2に示すように、保護テープで被覆する。

その仕様を次に示す。

a 質量配合比(%)

非公開

b 物理的性質(熱膨脹黒鉛)

非公開



c 包装材の材質: 非公開

(イ) 保持部材

非公開

(ウ) アルミガラスクロステープ非公開



- イ 目地部材
 - (ア) バックアップ**材** 非公開
 - (イ) 充てん材

a 材質 建築用シリコーンシーリング材 (JIS A 5758)

ウ ジョイントテープ

非公開

エ アルミガラスクロステープ 非公開



オ 硬質ポリ塩化ビニル管

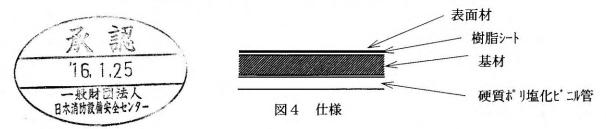
内管に用いる硬質ポリ塩化ビニル管を表6に示す。

表6 内管の種類

	種類		記号	呼び径
	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VD VII	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
直	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	VP•VU	FOA - 100A
直管	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6776	HT	50A~100A
	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	AS20	VU	

力 被覆材

被覆材の仕様を図4に、構成する材料を表7及び8に示す。



① 表面材:ポリエステル樹脂、樹脂シート:オレフィン系樹脂

表7 構成

項目	材質または組成(質量%)	厚さ	
表面材 ポリエステル樹脂		非公開	
樹脂シート	オレフィン系樹脂 非公開 無機充てん材 非公開	7 - 70	
基材 ウレタンフォーム材			

② 表面材:ポリ塩化ビニル系樹脂、樹脂シート:ポリ塩化ビニル系樹脂 表8 構成

項目	材質または組成(質量%)	厚さ
表面材	ポリ塩化ビニル系樹脂	非公開
樹脂シート	ポリ塩化ビニル系樹脂 非公開 無機充てん材 非公開	21 2//
基材	ウレタンフォーム材	

2. 配管の種類及び寸法

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管の種類及び寸法を表8に示す。

表8 種類及び寸法

単位:mm

	直管			
呼び径	種類 (記号)	内管基本寸法	被覆材 外径寸法	
	VU	60	72	
50A	VP	60	72	
	HT	60	72	
	VU	76	88	
65A	VP	76	88	
	HT (#)	76	88	
	VU	89	101	
75A	VP	89	101	
	H <u>T</u> (#)	89	101	
	VU	114	126	
100A	VP	114	126	
	HT (#)	114	126	

* HT(#)はJIS K 6776 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管に準拠

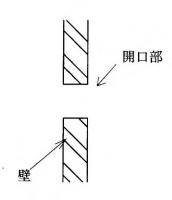
76. 1.25 一般財団法人 日本消防設備安全センター

2 施工仕様

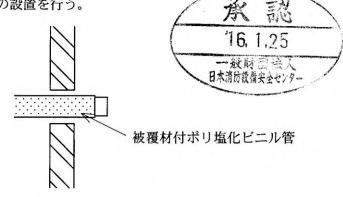
鉄筋コンクリート、鉄骨筋コンクリート又は軽量気泡コンクリートからなる壁に次の とおりの施工を行う。

(1) 施工手順

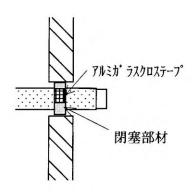
① 被覆材付ポリ塩化ビニル管を貫通させる場所には、鉄筋コンクリート及び鉄骨筋コンクリートの場合はコンクリート打設時にボイド管を埋設し、また軽量気泡コンクリートの場合はホールソーで、所定の開口部を設ける。



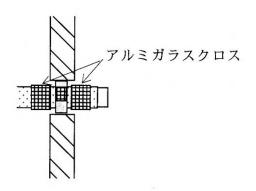
② 被覆材付ポリ塩化ビニル管の設置を行う。



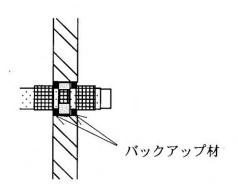
③ 閉塞部材を取り付ける。(合せ目をアルミガラスクロステープで留める。)



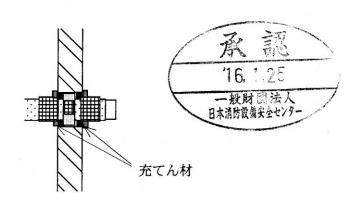
④ 壁開口部の面から外に向けてアルミガラスクロステープを巻く。



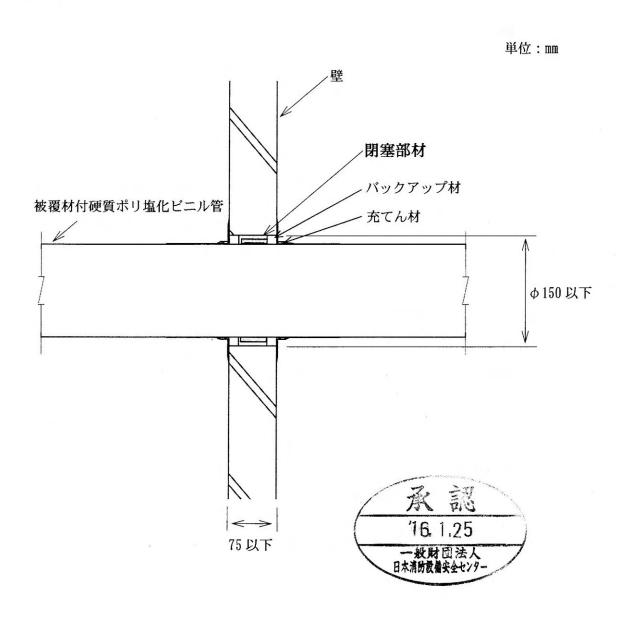
⑤ バックアップ材を埋設する。



⑥ 充てん材を充てんする。



(2) 施工図例



4. 試験結果の概要

試験項目		試験内容		試験結果	
区画貫通部	1	壁材質	ALCパネル	1 時間耐火	
の耐火性能	2	壁厚	75mm	良	
(壁)	3	開口部	直径 150 ㎜以下の円形		
	4	貫通部	被覆材付硬質塩化ビニル管・被覆材①		
			(VU、呼び径 100、外径:126mm)		
	5	目地処理	非公開 及びシリコーンシーリング材		
	1	壁材質	ALCパネル		
W.	2	壁厚	75mm	İ	
	3	開口部	直径 150 m以下の円形		
	4	貫通部	被覆材付硬質塩化ビニル管 被覆材①		
			(VP、呼び径 100、外径:126㎜)		
	5	目地処理	非公開 及びシリコーンシーリング材		
	1	壁材質	ALCパネル		
	2	壁厚	75mm		
	3	開口部	直径 150 mm以下の円形		
*	4	貫通部	被覆材付硬質塩化ビニル管 被覆材②		
			(VU、呼び径 100、外径:126mm)		
	5	目地処理	非公開 及びシリコーンシーリング材		
	1	壁材質	ALCパネル		
	2	壁厚	75mm		
	3	開口部	直径 150 mm以下の円形		
	4	貫通部	被覆材付硬質塩化ビニル管 被覆材②		
			(VP、呼び径100、外径:126mm)		
	5	目地処理	非公開 及びシリコーンシーリング材		



11. 評定条件

1 施工上の条件

- (1) 共住区画を構成する鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート又は軽量気泡コンクリートの壁(以下、「耐火構造の壁」という。)を排水管及び排水管に付属する通気管が貫通する部位に適用すること。
- (2) 貫通部の穴の大きさ及び形状は、直径 150mm 以下の円形であること。
- (3) 配管を貫通するために区画に設ける穴相互の離隔距離は、貫通するために設ける穴の直径の大なる方の距離以上(当該直径が 200 mm 以下の場合にあっては 200mm 以上)であること。ただし、住戸等と共用部分との間の耐火構造の壁にあっては、適用しない。
- (4) 貫通する配管等は、「1.評定概要 2.配管の種類及び寸法」によること。
- (5) 厚さ 75 mm 以上の耐火構造の壁に適用すること。
- (6) 軽量気泡コンクリートからなる耐火構造の壁にあっては、貫通部が1枚のパネル 内に収まるように施工すること。
- (7) 貫通部は、施工仕様に基づく詳細な施工方法に関するマニュアルにより施工すること。

2 品質管理上の条件

膨張黒鉛 非公開 を 300℃で 30 分間加熱した時の膨張倍率が 50 倍以上であることを製造ロット毎に確認すること。

76.1.25 一般財団法人 日本消防設備安全センター